

社会からの評価

FTSE4Good Index Series・FTSE JPX Blossom Japan Index・FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index 銘柄に選定

FTSE4Good Index Series は、環境・社会・ガバナンス (ESG) の対応に優れた企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、金融商品の組成ツールや、リサーチ、参照基準、ベンチマークとして広く利用されます。

FTSE JPX Blossom Japan Index 及び FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index は、環境・社会・ガバナンス (ESG) 総合型指数として年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の ESG 投資銘柄選定に活用されています。



FTSE4Good



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標) はここに伊藤忠商事が第三者調査の結果、FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Index、及び FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。これらはグローバルなインデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数

MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数は、親指数 (MSCI 日本株 IMI 指数) 構成銘柄の中から、各 GICS® 業種分類の銘柄数 50% を目標に、ESG 評価に優れた企業を選別して構築される指数です。

当社は、2020 年 12 月に MSCI ESG 格付け評価にて総合商社として初めて「AAA」を獲得して以来、この最上位ランク評価を維持しています。

伊藤忠商事の MSCI ESG Research LLC またはその関連会社 (MSCI) のデータの使用や、MSCI のロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCI による伊藤忠商事の後援、宣伝、販売促進を行うものではありません。MSCI のサービスとデータは、MSCI またはその情報プロバイダーの資産であり、現状を提示するものであり、保証するものではありません。MSCI の名称とロゴは、MSCI の商標またはトレードマークです。

THE INCLUSION OF ITOCHU CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF ITOCHU CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



Dow Jones Best-in-Class World Index・Asia Pacific Index 銘柄に選定 (13年連続)

世界の代表的なサステナビリティ指数である「Dow Jones Best-in-Class World Index (DJBIC World)」及び、アジア・太平洋地域を対象とした「Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index (DJBIC Asia Pacific)」の構成銘柄に、13年連続で選定されています。DJBIC (2025 年 2 月 10 日以前は DJSI) は、S&P グローバルが実施する「経済」「環境」「社会」の 3 つの側面から企業活動を分析・調査する Corporate Sustainability Assessment (CSA) に基づいて、対象銘柄を選定しています。同インデックスシリーズは企業のサステナビリティ・パフォーマンスを測るベンチマークの国際基準として、企業行動に大きな影響を与えていると考えられます。

社会からの評価

S&P Global Sustainability Yearbook 2026において業界内評価「Top 1%」獲得

S&P Global 社が企業のサステナビリティの取組みを評価する Corporate Sustainability Assessment (CSA) の結果、Trading Companies & Distributors セクターで「Top 1%」のスコアを獲得し、「Sustainability Yearbook 2026」に掲載されました。(2026年2月現在)



ジェンダー・ダイバーシティ指数「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J)」銘柄に選定

GenDi J は、Equileap が提供するジェンダー・イクオリティ・スコアを活用し、確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、及び、ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点をおいた指数です。(2026年6月現在)



Morningstar, Inc.及び／またはその関連会社（単体／グループに関らず「Morningstar」）は、伊藤忠商事が、「指定されたランキング年において、職場でのジェンダー・ダイバーシティに関して、Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）（「インデックス」）を構成する銘柄の最上位のグループにランクされた」という事実を反映するために、伊藤忠商事がMorningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト（除くREIT）・ロゴ（「ロゴ」）を使用することを承認しました。Morningstarは情報提供のみを目的として伊藤忠商事によるロゴの使用を承認しております。伊藤忠商事によるロゴの使用はMorningstarが伊藤忠商事を推奨するものではなく、また、伊藤忠商事に関連する有価証券の購入、売却、引受けを推奨、提案、勧誘するものでもありません。当インデックスは日本の職場のジェンダー・ダイバーシティを反映するようにデザインされておりますが、Morningstarは、インデックスまたはインデックスに含まれるデータの正確性、完全性、または適時性を保証しません。Morningstarはインデックス、またはロゴに関して明示的にも暗黙的にも保証を行わず、インデックス、インデックスに含まれるデータまたはロゴに関する商品性および特定の目的または使用への適合性の保証を明示的に否認します。前述のいずれにも制限することなく、いかなる場合においても、Morningstarまたはその第三者のコンテンツプロバイダーは、いずれかの当事者によるインデックスまたはロゴの使用または信頼に起因する（直接的・間接的に関わらず）損害について、Morningstarが当該損害の可能性について認識していたとしても、いかなる責任も負わないものとします。Morningstarの名前、インデックス名、およびロゴは、Morningstar, Inc.の商標またはサービスマークです。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

グローバル環境株式指数「S&P / JPXカーボン・エフィシエント指数」銘柄に選定

S&P / JPX カーボン・エフィシエント指数は、GPIF が採用しているグローバル環境株式指数。Trucost による炭素排出量データをもとに世界最大級の独立系指数会社である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、TOPIX の構成銘柄を対象とし、時価総額をベースに同業種内で炭素効率性が高い企業、温室効果ガス排出に関する情報開示をおこなっている企業の投資ウェイトを高めた指数です。(2026年4月現在)



CDP

● CDP 気候変動

CDP 気候変動は、企業の気候変動に対する対応状況等を評価しています。2025年度、当社は A 評価を受けました。

● CDP 水セキュリティ

CDP 水セキュリティは、水セキュリティに関する企業の取組み状況を評価しています。2025年度、当社は A 評価を受けました。

● CDP サプライヤー・エンゲージメント評価 (SEA)

CDP SEA は、CDP 気候変動質問書におけるガバナンス、目標、スコープ3排出量、バリューチェーンエンゲージメントに関するパフォーマンスを評価しています。2025年度、当社は A 評価を受けました。



当社の「CDP 質問書（気候変動・水セキュリティ・フォレスト）2026」への回答は以下をご覧ください。
(https://www.itochu.co.jp/ja/csr/pdf/cdp_questionnaire_2026.pdf) 

社会からの評価

SOMPO サステナビリティ・インデックス銘柄に選定（15年連続）

本インデックスは、SOMPO アセットマネジメント株式会社が 2012 年 8 月に運用を開始した ESG 評価が高い企業に幅広く投資する年金基金・機関投資家向けの ESG 運用プロダクト「SOMPO サステナブル運用」において、独自のアクティブ・インデックスとして活用されています。



環境省第7回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン 「環境サステナブル企業部門」金賞受賞

本アワードは、ESG 金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取り組み等を表彰し、広く社会で共有し、ESG 金融の普及・拡大につなげることを目的としています。環境サステナブル企業部門の審査では様々な事業会社との相対評価がされる中、脱炭素への潮流を事業機会と捉え、クリーンテックビジネスに注力している点等が高く評価されての受賞となりました。



大和インベスター・リレーションズ 「インターネットIR表彰 サステナビリティ部門」最優秀賞

本賞は、大和インベスター・リレーションズ社が、国内上場企業のホームページを対象に評価します。サステナビリティ部門ではトップページ、全体方針、環境、社会、ガバナンス、サポートの 6 つの項目に対し、基本方針、社会課題への考え方、体制、定量的データ等を評価、当社は最優秀賞を受賞しました。



「Gomez ESG サイトランキング2025」全業種総合第1位（5年連続）

本ランキングは、上場企業のウェブサイト情報の充実度を評価するために実施されており、伊藤忠商事のサステナビリティレポートを含むサステナビリティサイトが高く評価された結果、最優秀企業に選出されました。

調査項目は「ウェブサイトの使いやすさ」「ESG 共通」「E（環境）」「S（社会）」「G（ガバナンス）」の 5 つから成り、主要ユーザーである株主・投資家だけではなく、幅広いステークホルダーの視点を盛り込んで設定されています。



ダイバーシティ関連

令和7年度なでしこ銘柄

「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、企業への投資を促進し、各社の取組を加速化していくことを狙いとしたもの（2026 年選定／経済産業省・東京証券取引所）



ダイバーシティ関連

令和6年度「Next なでしこ 共働き・共育て支援企業」

「共働き・共育てを可能にする男女問わない両立支援」が特に優れた上場企業を選定するもの（2025 年選定／経済産業省・東京証券取引所）



社会からの評価

ダイバーシティ関連

令和6年度東京都女性活躍推進大賞（事業者部門）「優秀賞」

女性の活躍推進について優れた取組を行っている企業や団体、個人を「東京都女性活躍推進大賞」として表彰するもの（2024年選定／東京都）



ダイバーシティ関連

令和2年度女性が輝く先進企業表彰 内閣府特命担当大臣（男女共同参画）賞

女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取組み及び実績並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業を表彰するもの（2020年表彰／内閣府）



ダイバーシティ関連

新・ダイバーシティ経営企業100選

多様な人材が活躍できる機会や環境を提供する優れた企業を選定するもの（2016年選定／経済産業省）



ダイバーシティ関連

えるぼし認定（2段階）

女性の活躍推進に関する状況等が優良である企業を認定するもの（2016年取得／厚生労働省）



ダイバーシティ関連

プラチナくるみん認定

仕事と育児の両立支援の取組みに特に優れた企業を認定するもの（2016年取得／厚生労働省）



ダイバーシティ関連

平成29年度 均等・両立推進企業表彰 厚生労働大臣優良賞（ファミリー・フレンドリー企業部門）

仕事と育児・介護との両立支援のための取組みについて、他の模範となる取組みを推進している企業を表彰するもの（2017年選定／厚生労働省）



〇ファミリー・フレンドリー企業部門
平成29年度

社会からの評価

労働安全衛生・健康経営関連

健康経営銘柄2025 健康経営優良法人ホワイト500

従業員の健康管理を経営的な視点から考え戦略的に取り組んでいる企業を選定するもの（経済産業省・東京証券取引所）

※ 2016年度以来10年連続で健康経営優良法人ホワイト500に選定。



労働安全衛生・健康経営関連

がん対策推進企業アクション推進パートナー表彰 厚生労働大臣賞（2018年選定） がん対策推進パートナー賞「検診部門」（2023年選定） がん対策推進優良企業賞（2023年から3年連続選定）

がん対策に積極的に取り組んでいる企業に対し、総合的にがん対策が進んでいる企業を表彰するもの（厚生労働省）



労働安全衛生・健康経営関連

がん患者の治療と仕事の両立への優良な取り組みを行う企業表彰 優良賞

治療と仕事の両立に関する優良な取り組みを行っている企業を表彰するもの。（2018年 2月選定／東京都）



労働安全衛生・健康経営関連

ベストプラクティス企業選定

年1回実施する過重労働解消キャンペーンの一環として、長時間労働削減に向けた積極的な取り組みを行っている「ベストプラクティス企業」を各都道府県ごとに1社のみ選定するもの（2017年 11月／東京労働局）

労働安全衛生・健康経営関連

日本の人事部 HR アワード2018 企業人事部門 優秀賞

人事・人材開発・労務管理等の分野におけるイノベーターを表彰する表彰制度（2018年 11月）



労働安全衛生・健康経営関連

第1回 がんアライ宣言・アワード ゴールド受賞

がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」が、がん罹患者が治療をしながらいきいきと働ける職場や社会を目指して創設したアワード（2018年 10月）

